

革新的製品の創出に向け皮膚科学とペプチド科学を融合

ポーラ化成とペプチドリームが協業により研究開発を加速

ポーラ・オルビスグループのポーラ化成工業株式会社（本社：神奈川県横浜市、社長：釘丸和也）とペプチドリーム株式会社（本社：神奈川県川崎市、社長：リード・パトリック）は、協働して、ペプチド^{※1}を用いた医薬品、医薬部外品および化粧品の研究開発を進めることになりました。ポーラ化成工業の保有する皮膚科学を中心とした基礎研究の知見と、ペプチドリームの保有する新たな機能をもつペプチドを作り出す技術を融合し、革新的な研究開発を進めていきます。

※1 数〜数十のアミノ酸が結合した化合物



ポーラ化成工業 本社・横浜研究所



ペプチドリーム 本社・研究所

両社の強みと背景

ポーラ化成工業は、日本で初めてシワ改善効果が認められた医薬部外品、リンクルショット メディカル セラムの開発に成功するなど、革新的な研究とエビデンスに基づく製品開発を強みとしています。グループの強みである「感性溢れる独自価値の提供」を強化するため、最先端・異分野の外部機関とのオープンイノベーションを推進しています。皮膚科学研究の深耕および有効素材の開発においても、外部機関との連携により革新的アウトプットやスピードアップを図ります。

ペプチドリームは、多種多様な特殊ペプチド^{※2}を自在に作り出し、医薬品等の候補化合物を短期間で探索する独自の創薬開発プラットフォームシステム：PDPS（Peptide Discovery Platform System）と、本システムを用いた創薬研究を強みとしています。特殊ペプチドの技術は医薬品以外の分野でも役立つと期待できることから、PDPSの活用範囲を拡大していくことで、ビジネスモデルの戦略的拡大を目指します。

今後の取り組みについて

ポーラ化成工業は、自社のフロンティアリサーチセンターが保有する皮膚科学の知見と医薬部外品および化粧品の素材開発力をもとに、ペプチドリームのPDPSを活用することでパイプライン選択の拡充を図り、確かな有効性と安全性、安定性に優れた素材を迅速に創出していきます。

ペプチドリームは、PDPSの活用をポーラ化成工業における医薬部外品や化粧品の素材開発に拡大するとともに、ポーラ化成工業との協業により、例えば、皮膚に効果のある医薬品シーズの創出などに取り組めます。

※2 特殊ペプチド 生体内タンパク質を構成する20種類のアミノ酸のみならず、それ以外の特殊アミノ酸を含むペプチドのこと

【補足】

ポーラ化成工業株式会社 フロンティアリサーチセンター (FRC)

ポーラ・オルビスグループの研究・開発・生産を担うポーラ化成工業株式会社に設置されている FRC は、株式会社ポーラ・オルビスホールディングス マルチプルインテリジェンスリサーチセンター (MIRC) が決定した研究戦略に基づいて、新価値創出を目的とした研究を実行し、新規・既存事業へ活用するシーズを創出する役割を担います。新規有効成分の開発を担うなど、イノベティブな研究を行っています。



株式会社ポーラ・オルビスホールディングス

ポーラ・オルビスグループは、グループの創業 100 周年となる 2029 年に向け、新グループ理念として「感受性のスイッチを全開にする」を策定するとともに、長期的な成長を実現する新たなビジョンを描いています。

ポーラ化成工業株式会社 ホームページ： <http://www.pola-rm.co.jp/index.html>

株式会社ポーラ・オルビスホールディングス ホームページ： <https://www.po-holdings.co.jp/>

ペプチドリーム株式会社

「日本発、世界初の新薬を創出し社会に貢献したい」という創業理念のもと、2006年7月に設立されました。独自の創薬探索システムPDPSを用い、極めて広範囲にわたる特殊ペプチドを多数(数兆種類)合成し高速で評価することで、創薬において重要なヒット化合物の創製、リード化合物の選択、もしくはファーマコフォアの理解を極めて簡便に、しかも効率的に行えるようにしました。この技術により、ペプチドリーム株式会社は特殊ペプチドを用いた創薬企業の世界的なリーダーとして世界中の病気で苦しんでいる人々に画期的新薬を提供することを使命として、研究開発に取り組んでいます。



ペプチドリーム株式会社 ホームページ： <https://www.peptidream.com/>

お問い合わせ先： Tel 044-223-6612